

## 鯨類資源推定

国際捕鯨委員会による資源量推定に関する最新の情報 <https://iwc.int/estimate>

### ミンククジラ

資源	資源量推定値が 該当する年次	大凡の最良 資源量推定	大凡の95%信頼空間
<b>南半球</b>	1985/86 - 1990/91	720,000	510,000-1,010,000
	1992/93 - 2003/04	515,000	360,000 - 730,000
<b>北大西洋</b>			
北東	1989	65,000	44,000 - 95,000
北東	1995	112,000	91,000 - 138,000
北東	1996 - 2000	80,000	59,000 - 108,000
北東	2003 - 2007	81,000	51,000 - 128,000
北東	2008 - 2013	90,000	62,000 - 128,000
中央	2005 - 2007	50,000	30,000 - 83,000
西グリーンランド	2007	9,100	4,300 - 19,000
西グリーンランド	2015	5,100	2,100 - 12,000
<b>北太平洋</b>			
北西太平洋とオホーツク海	1990 - 1991	28,000	17,000 - 45,000
北西太平洋とオホーツク海	2003	20,000	13,000 - 30,000
日本海	2004-2006	4,200	2,700 - 6,300

### シロナガスクジラ

資源	資源量推定値が 該当する年次	大凡の資源量 点推定値	大凡の95%信頼空間
<b>南半球</b>	1991/92 - 2003/04	2,300	1,150 - 4,500
(ピグミーシロナガスクジラを除く)			
1978/79から2003/04の間のこの資源の増加率は年8.2%と推定されている(95%信頼区間は3.8-12.5%)			
<b>北太平洋</b>			
東	2008	2,500	1,700 - 3,600

### ナガスクジラ

資源	資源量推定値が 該当する年次	大凡の最良 資源量推定	大凡の95%信頼空間
<b>北大西洋</b>			
東グリーンランド～フィロ諸島	1987 - 1989	14,800	11,000 - 20,000
東グリーンランド～フィロ諸島	1995	21,900	16,000 - 30,000
東グリーンランド～フィロ諸島	2001	25,800	20,000 - 33,000
東グリーンランド～フィロ諸島	2007	21,900	16,000 - 30,000
東グリーンランド～フィロ諸島	2015	40,800	28,000 - 59,000
西グリーンランド	2007	16,000	4,500 - 57,000
西グリーンランド	2015	2,200	1,000 - 4,900

## コククジラ

資源	資源量推定値が 該当する年次	大凡の最良 資源量推定	大凡の95%信頼空間
<b>北大平洋</b>			
東	1997/98	21,100	18,400 - 24,200
東	2000/01	16,400	14,500 - 18,500
東	2001/02	16,000	14,000 - 18,400
東	2006/07	20,800	18,800 - 23,400
東	2007/08	17,800	16,100 - 20,000
東	2009/10	21,200	19,400 - 23,300
東	2010/11	21,000	19,200 - 22,900
東	2014/15	28,800	23,600 - 39,300
東	2015/16	27,000	24,400 - 29,900
太平洋沿岸索餌群	1998	125	100 - 150
	2017	230	180 - 290
西	1995	74	66 - 81
西	2015	200	187 - 211

## ホッキョククジラ

資源	資源量推定値が 該当する年次	大凡の最良 資源量推定	大凡の95%信頼空間
<b>北太平洋</b>			
バering・チクチ・ビューフォート海	2001	10,500	8,200 - 13,500
バering・チクチ・ビューフォート海	2004	12,600	7,900 - 19,700
バering・チクチ・ビューフォート海	2011	16,800	15,200 - 18,700
1978年から2011年の間のこの資源の純増加率は、年3.7%と推定されている(95%信頼区間は2.9%-4.6%)			
オホーツク海	2016	218	140 - 350
<b>北大西洋</b>			
西グリーンランド索餌場	2012	1,300	900 - 1,600
カナダ東 - グリーンランド西	2013	6,400	3,700 - 11,200
スヴァールバル	2015	340	100 - 900

## ザトウクジラ

資源	資源量推定値が 該当する年次	大凡の最良 資源量推定	大凡の95%信頼空間
<b>南半球</b>			
南極海索餌場を一部カバー	1991/92 - 2003/04	42,000	33,000 - 52,000
南米東：ブラジル	2005	6,300	4,300 - 8,600
		約7%の増加率	
南米西：エクアドル	2006	6,500	4,200 - 10,000
西アフリカ：ガボン	2005	6,800	4,300 - 10,500
南アフリカ西	2001	*300	200 - 400
	*この推定値は資源の定住型要素を表している可能性があります		
東アフリカ：モザンビーク	2003	6,000	4,400 - 8,400
東アフリカ：マダガスカル	2004	7,400	2,100 - 12,800
豪州東	2010	14,500	12,700 - 16,600
大洋州	2005	4,300	3,300 - 5,400

## ザトウクジラ

資源	資源量推定値が 該当する年次	大凡の最良 資源量推定	大凡の95%信頼空間
<b>北大西洋</b>			
北西大西洋	1993	11,600	10,000 - 13,500
アイスランド / フェロー諸島	2007	18,000	7,000 - 46,000
アイスランド / フェロー諸島	2015	10,000	4,900 - 20,300
グリーンランド東	2015	4,200	1,800 - 9,700
グリーンランド西	2007	2,700	1,400 - 5,300
グリーンランド西	2015	1,000	400 - 2,300
1984-2007年、約9%の増加率			
<b>北太平洋</b>	2004 - 2006	21,000	19,000 - 23,000
<b>アラビア海</b>	2007	80	60 - 110

## セミクジラ

資源	資源量推定値が 該当する年次	大凡の最良 資源量推定	大凡の95%信頼空間
<b>南半球</b>			
南西大西洋	2009	12,000	
	2009	3,300	約7%の増加率
南部アフリカ	2009	3,900	約7%の増加率
亜南極ニュージーランド	2009	2,700	
南中央と西豪州	2009	2,000	約7%の増加率
<b>北大西洋</b>	2010	490	

## イワシクジラ

資源	資源量推定値が 該当する年次	大凡の最良 資源量推定	大凡の95%信頼空間
<b>北太平洋</b>			
中央と東	2010 - 2012	29,600	18,500 - 47,300

## ニタリクジラ

資源	資源量推定値が 該当する年次	大凡の最良 資源量推定	大凡の95%信頼空間
<b>北太平洋</b>			
西	1988 - 1996	32,000	19,000 - 55,000
	1988 - 2002	32,000	15,000 - 66,000
	2008 - 2015	41,000	24,000 - 68,000

## ゴンドウクジラ

資源	資源量推定値が 該当する年次	大凡の資源量 点推定値	大凡の95%信頼空間
<b>大西洋</b>			
中央と北東	1989	780,000	430,000 - 1,390,000

### ペルーガ（シロイルカ）

資源	資源量推定値が 該当する年次	大凡の資源量 点推定値	大凡の95%信頼空間
<b>北太平洋</b>			
オホーツク海	2010	~12,000	
チュクチ海東(一部)	2017	13,300	5,100 - 34,300

### ネズミイルカ

資源	資源量推定値が 該当する年次	大凡の資源量 点推定値	大凡の95%信頼空間
<b>北大西洋</b>			
東バルト海・ベルト海・カテガット海峡	2012	40,000	25,000 - 65,000

### セッパリイルカ（ヘクターズ・ドルフィン）

資源	資源量推定値が 該当する年次	大凡の資源量 点推定値	大凡の95%信頼空間
<b>南島、ニュージーランド</b>	2016	14,800	11,900 - 18,500

### セッパリイルカ（マウイイルカ）

資源	資源量推定値が 該当する年次	大凡の資源量 点推定値	大凡の95%信頼空間
<b>北島、ニュージーランド</b>	2016	57	48 - 71

#### 資源量の推定

資源量推定と呼ばれる、現存の個体群規模の推定はフィールドワークとコンピューターモデリングの組み合わせから得られます。船舶ベースや空中目視調査、音響モニターリング、個々の個体識別の分析は、クジラを数えるために独立して、または互いに組み合わせて用いられる技術です。このフィールドワークから収集された情報は、資源量の推定値算出に使われるポピュレーションモデリングの基礎として用いられます。

2017年に、IWC科学委員会が、科学委員会に提出されたすべての資源量推定を検討し、合意するための新しい専門家グループを設立しました。この新しいプロセスにより、IWCが使用するすべての資源量推定にわたって品質と一貫性が保証されます。

鯨類の資源量推定が完全に正確である可能性は低く、IWCの推定値は「最良の推定値」として提示され、95%の信頼空間が伴い、実際の資源量数値が位置していると考えられている最高および最低の数字を示しています。一例として、南半球シロナガスクジラの資源量推定は2,300で、95%の信頼空間は1,150-4,500です。これは、真の数が1,150から4,500の間にある可能性が95%であることを意味します。

資源量の増加または減少が、特定されている場合、表内で示されています。

現在、IWCは一部の鯨種・海域に対してのみ推定値を合意しています。ASI(資源量推定と資源状態および国際調査)作業部会の設立に伴い、今後、この表を更新し、可能な限りギャップを埋める予定です。